

テーマ：神様から親と子に与えられた責任とは何か？

○親子間におけるそれぞれの責任：

1. 子どもの責任：\_\_\_\_\_ (20)

「(1)ローマには“パトリア パテスタス”(父親の力)と呼ばれる法律が存在しました。この法律の下では、ローマの父親は家族に対して絶対的な権力を有していました。家族を奴隷として売ることができ、鎖に繋がれたまま畑で働かせることができ、好きなように罰することができ、死刑を宣告することさえできました。さらに、この権力は父親が生きている限り、子どもの一生にわたって続きました。たとえ成人したとしても、市の役人であったとしても、国が相応しい荣誉を与えたとしても、子どもは父親の絶対的な権力の下に置かれたのです。(2)子どもをさらすという習慣も存在しました。子どもが生まれると父親の足元に置かれました。父親が身をかがめて持ち上げれば、それはその子を認め、育てる意志があることを意味しました。もし父親が背を向けて立ち去れば、その子を拒否したことになり、文字通り捨てられる可能性があったのです。…また、望まれない子どもはローマの広場に置き去りにされるという習慣も存在しました。彼らはそこで拾われた者の所有物となりました。夜になると、奴隷として売ったり、ローマの売春宿に仕入れるために、彼らを世話をする人々によって拾い集められたりしたのです。」(ウィリアム・バークレー)

※マルコ 10:14-16

「イエスはそれをご覧になり、憤って、彼らに言われた。「子どもたちを、わたしのところに来させなさい。止めてはいけません。神の国は、このような者たちのものです。まことに、あなたがたに告げます。子どものように神の国を受け入れる者でなければ、決してそこに、入ることはできません。」そしてイエスは子どもたちを抱き、彼らの上に手を置いて祝福された。」

▶「従いなさい」(「\_\_\_\_\_」“フボ”+「\_\_\_\_\_」“アクオ”)

「従順には意識的に耳を傾ける必要があります。本当に聞かなければ、本当に従うことはできません。だから親はいつも『言うことを聞きなさい』と言うのです。理解して、実践するつもりで耳を傾けること…この多くは態度の問題なのです。私たちは悪さをした少年のようになるべきではありません。先生に角に座っていなさいと言われた彼は、嫌々ながらそれに従い、その間ずっと自分に言い聞かせていました。『外側では座っているけど、内側では立っているんだ!』と。」(ケント・ヒューズ)

※エペソ 6:1-2

「子どもたちよ。主にあつて両親に従いなさい。これは正しいことだからです。「あなたの父と母を敬え。」これは第一の戒めであり、約束を伴ったものです。…」

「子どもの言うこと、行うことは、子どもの心の中にあるものを反映しているのです。ルカの福音書6章45節は、このことを確証しています。『良い人は、その心の良い倉から良い物を出し、悪い人は、悪い倉から悪い物を出します。なぜなら人の口は、心に満ちているものを話すからです。』親というものは、つい行いに目が向いてしまいます。あなたが子どもしつける目標が行いを変えることにあるとしたら、そうになってしまう理由はよくわかります。正すべきはその子の行いにあると思ってしまうのです。良くない行いは、親をいらいらさせるため、行いそのものに注目してしまうのです。あなたの注意は行いに集中します。そして、子どもの良くない行いを、親の目から見て良いものへと変えることで、子どもを正したと思うのです。『何が問題なのでしょう』とあなたは言うかもしれません。問題なのは、あなたの子どもの必要は、その悪い行いよりももっと深いところにあるということです。子どもの行いは、何も原因のないところから湧き上がって来るものではありません。その子の行いは、その子の心の反映なのです。あなたが子どもを本当に助けたいなら、なぜそのような行いをするのか、つまりその子の心の状態について考え、心配しなければなりません。心を変えずに行いだけを変えることは、感心なことではありません。それどころかむしろ非難すべきことです。それこそが、イエスがパリサイ人をご覧になって偽善者だと非難したことではないのでしょうか。…しかし、これこそ、私たちが子育てをする上でよくやってしまうことです。子どもの行いを変えることには熱心であるにもかかわらず、その行いを生み出す心には目をとめないのです。…しつけや訓練は、その子の心の姿勢に対して行われなければなりません。このことを理解するなら、しつけは素晴らしいものになります。しつけは、もはや行いではなくて心の問題とします。ただ行いを変えるのではなく、もっと深い部分を正すことになるのです。心の中で何が起きているかということが、子どもをしかる上での焦点となります。あなたの感心は、子どもの罪を明らかにし、罪がいかに心を墮落させるかを子どもに理解させることとなります。それはキリストの十字架へと繋がっていきます。救い主が必要であることを強調するものとなります。そして、私たちの心を変え、罪の束縛から私たちを解放してくださる神の栄光を示す機会となるのです。』(テッド・トリップ)

※箴言 22:15

「愚かさは子どもの心につながれている。懲らしめの杖がこれを断ち切る。」

## 2. 親の責任： \_\_\_\_\_ (21)

※ヘブル 11:23

「信仰によって、モーセは生まれてから、両親によって三か月の間隠されていました。…」

「親が愛情をもってしつけをし、バランスを考えながら主の道を教えなければ、子どもから心を奪ってしまうことになるのです。」

### ●子どもを怒らせる態度

#### a) 両親の \_\_\_\_\_

※創世記 25:28

「イサクはエサウを愛していた。それは彼が猟の獲物を好んでいたからである。リベカはヤコブを愛していた。」

※創世記 27:41

「エサウは、父がヤコブを祝福したあの祝福のことでヤコブを恨んだ。それでエサウは心の中で言った。「父の喪の日も近づいている。そのとき、弟ヤコブを殺してやろう。」

#### b) 両親の \_\_\_\_\_

#### c) \_\_\_\_\_

※2サムエル記 13:21 「ダビデ王は、事の一部始終を聞いて激しく怒った。」

※2サムエル記 13:28

「アブシャロムは自分に仕える若い者たちに命じて言った。「よく注意して、アムノンが酔って上ぎげんになったとき、私が『アムノンを打て』と言ったら、彼を殺せ。恐れてはならない。この私が命じるのではないか。強くあれ。力ある者となれ。」